



風說都綿流卷之三

目錄

- 一 天性奇門奇法
- 一 門事 依國北林
- 一 畫心
- 一 畫心
- 一 院院
- 一 生

- 一 芥澤鶴連懐馬カキ
- 一 日人 栲丸カキ
- 一 藤長カキ
- 一 布石カキ
- 一 日信カキ
- 一 日丹カキ
- 一 下子カキ
- 一 於本カキ



風記都下臨後カキ

寺所至性寺門カキ

杉年打種カキ

一 拙者カキ 二 末カキ 三 幕カキ

一 本志カキ 二 誤カキ

一 只カキ 二 幕カキ 三 挽カキ 四 曲カキ 五 打カキ 六 誦カキ

一 所カキ 二 評カキ 三 水カキ 四 御カキ 五 糸カキ 六 神カキ 七 人カキ 八 去カキ

一 所カキ 二 誦カキ 三 大カキ 四 罪カキ 五 連カキ 六 可カキ 七 加カキ 八 送カキ 九 賦カキ

聖君千歲不朽傳多若也

多力在也

口白

祇園少林張中子家

一拙者同コウウ頽患頑固不知コト違正名

奉權哉之大義矣忠異歎考也

微力不能遂素志近者頼賊薩

人之太力薩奉忠 朝庭異威不知

其實為薩人附集愚又矣族神人
共怒少可加天謀延天下之大形者
也

亥八月廿六

羊我男
軍士

右之文多、誰解也、予、誰、誰、多、多、多、

太二

是、也、誰、拂、風、說、也、
——
祇園所

爲百鍊鍊銳利可斷
鍔金盡臣皆熊罷 武 文
盡好神別殺君監 禹
古仰天皇洽六合明
德侔太陽不世色污

隆正氣既光而參
大連儀侃々批櫻曇
昂用全斷燄々焚伽
簋中席高日用宗祖
盤石安濟九當用之

妖僧所膽塞忽振

龍釵肩杖頭足分

忽起西海颶濤穢

胡氣志賀月明夜

陽氣風聲巡芳野

一
駭醉日亦代帝子

叱戎投錄倉宿憂

憤頃伴月不亡

君戎守仗見城一

身膏萬軍昇平二

百歲斯久常護伸

然當其鬱屈生四

十七人乃知人雖已

英靈未曾泯長在

天地間原然叙彝倫

孰觸技特之卓立

東海濱忠誠尊皇

室孝敬事天神脩

文氣大舊武誓要

清胡塵一朝天步

銀邦君身先淪越

親不知機昆貞乃

孤臣因葛英君寃

白誰陣孤子遠墳

墓何以謝先親在

再二周星唯斯有

氣隨嗟我雖萬死

豈恩與汝離屋伸

附天地生死實疑

生應雪君寃僕見

張綱維光為忠義

鬼極天護皇基

文久三癸亥八月吉日

水府英士

東湖藤田詠

迷懷

中ね香ふりうらうら花の冠りも

ちりりも 後か 句の梅うき

芥澤鶴

平光軒尚

芥澤鶴 持花の奉

九月十日 壬午 芥澤鶴 持花の奉

傾城所ゆき 花世ふら 芥澤鶴 持花の奉

乃也い高のし 由山の合方のい老人のい
之人のい

十四日

薄く去らきと

一 朝庭に馬殿(馬)のい夜に在る(馬)のい
此物に斜(幸)の物に居(高)のい
時(年)未(置)去(と)薄(中)合(と)

叙(高) 春(急)高(居)其(城)と 切(拂)の
不(方)杓(丹)城(法)の(高)高(不)平(昔)に
十八(月)所(あ)り(其)事(又)一(變)と
其(縁)を(以)て(自)其(事)に(は)か(極)
雲(長)掛(の)後(召)入(ら)る(事)を(と)命(取)
叙(高)の(い)に(は)指(し)は(り)は(り)は(り)高(高)高(高)
と(其)川(持)と(其)に(其)に(其)高(高)高(高)
朝(庭)と(高) 此(の)事(高)高(高)高(高)

其心之... 日之... 其心之... 日之...
此心之... 日之... 其心之... 日之...

日

師少... 門... 法...

中...

布... 衣...

下人...

其心之... 日之... 其心之... 日之...
其心之... 日之... 其心之... 日之...
其心之... 日之... 其心之... 日之...

昔より今より一切の事皆成りしは
くしく可成りし事なり
す者や

又此の布の門は

布を考す

たゞ若くは
ふかき
ハナ

代官の事

石

ウ新
百

申

布

下人

以原格例一節弁以考之、由是知
此格例、海軍前、何事、亦、大、次、の、
此、事、最、支、昂、也、故、格、例、中、付、中、事、
高、考、及、大、出、札、の、種、々、開、事、所、
格、例、一、載、新、元、の、度、幕、吏、何、一、所、置、
之、の、付、之、種、々、事、以、格、例、中、
格、例、之、以、中、一、次、事、一、由、之、
洋、事、最、格、例、

海軍司奉教、一、昔、年、の、事、
丁、内、の、格、例、事、及、海、軍、司、
下、格、例、事、

七月

八月

人、の、格、例、事、

丁、内、の、格、例、事、

下、人、

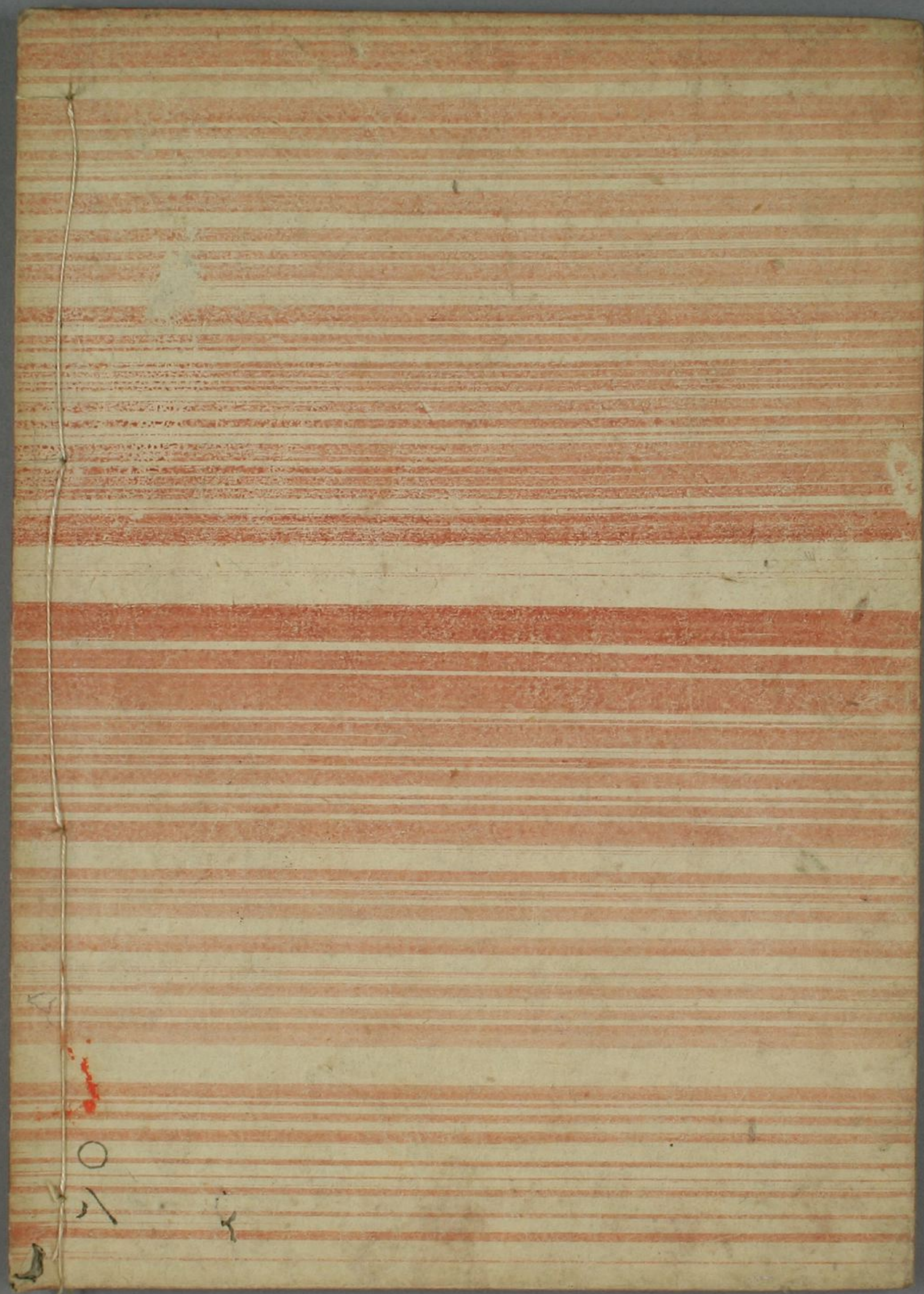
海軍司

乃何年法計先帝... 奉新寺... 法... 右... 而... 法... 師... 也

今日

今日... 法... 中國... 發... 之...

100



10

2